

## 平成29年度 児童相談所での児童虐待相談対応件数＜速報値＞

○児童相談所での児童虐待相談対応件数とその推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・1頁

○児童相談所での児童虐待相談対応件数（対前年度比較、都道府県別）・・・・・・2頁

○児童相談所での虐待相談の内容別件数の推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・3頁

○児童相談所での虐待相談の経路別件数の推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・4頁

※ 平成30年8月30日公表の「平成29年度 児童相談所での児童虐待対応件数等」の数値については、速報値のため今後変更があり得る。

# 児童相談所での児童虐待相談対応件数とその推移

## 1. 平成29年度の児童相談所での児童虐待相談対応件数

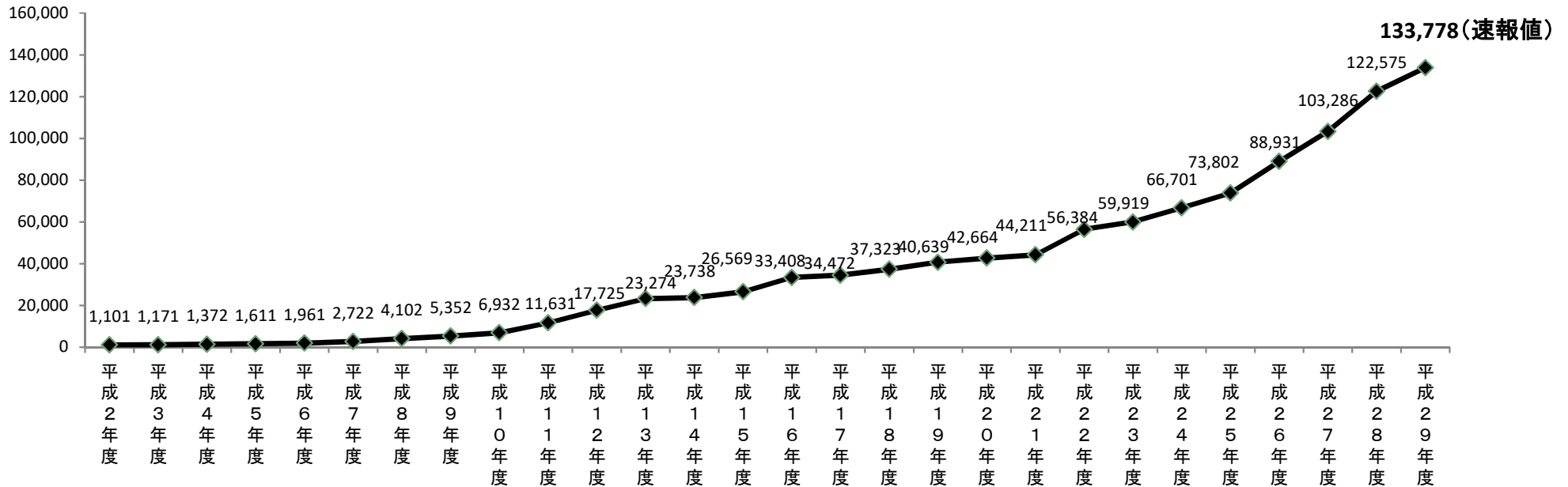
平成29年度中に、全国210か所の児童相談所が児童虐待相談として対応した件数は133,778件（速報値）で、過去最多。

※ 対前年度比109.1%（11,203件の増加）

※ 相談対応件数とは、平成29年度中に児童相談所が相談を受け、援助方針会議の結果により指導や措置等を行った件数。

※ 平成29年度の件数は、速報値のため今後変更があり得る

## 2. 児童虐待相談対応件数の推移



年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度(速報値)
件数	42,664	44,211	注 56,384	59,919	66,701	73,802	88,931	103,286	122,575	133,778
対前年度比	105.0%	103.6%	-	-	111.3%	110.6%	120.5%	116.1%	118.7%	109.1%

注) 平成22年度の件数は、東日本大震災の影響により、福島県を除いて集計した数値。

## 3. 主な増加要因

- 心理的虐待に係る相談対応件数の増加（平成28年度：63,186件→平成29年度：72,197件（+9,011件））
- 警察等からの通告の増加（平成28年度：54,812件→平成29年度：66,055件（+11,243件））

（平成28年度と比して児童虐待相談対応件数が大幅に増加した自治体からの聞き取り）

- 心理的虐待が増加した要因として、児童が同居する家庭における配偶者に対する暴力がある事案（面前DV）について、警察からの通告が増加。

# 児童相談所での児童虐待相談対応件数(対前年度比較、都道府県、指定都市、児童相談所設置市別)

都道府県・指定都市・児童相談所設置市	児童相談所相談対応件数			対前年度増減割合
	平成28年度	平成29年度(速報値)	対前年度増減件数	
1 北海道	3,023	3,220	197	107%
2 青森県	949	1,073	124	113%
3 岩手県	942	1,088	146	115%
4 宮城県	812	727	▲ 85	90%
5 秋田県	410	460	50	112%
6 山形県	331	271	▲ 60	82%
7 福島県	956	1,177	221	123%
8 茨城県	2,038	2,256	218	111%
9 栃木県	1,116	1,232	116	110%
10 群馬県	1,142	1,079	▲ 63	94%
11 埼玉県	9,343	10,439	1,096	112%
12 千葉県	6,775	6,811	36	101%
13 東京都	12,494	13,707	1,213	110%
14 神奈川県	4,105	4,904	799	119%
15 新潟県	1,240	1,482	242	120%
16 富山県	629	794	165	126%
17 石川県	436	438	2	100%
18 福井県	510	553	43	108%
19 山梨県	970	757	▲ 213	78%
20 長野県	1,909	2,048	139	107%
21 岐阜県	1,004	1,095	91	109%
22 静岡県	1,516	1,304	▲ 212	86%
23 愛知県	4,297	4,364	67	102%
24 三重県	1,310	1,670	360	127%
25 滋賀県	1,283	1,400	117	109%
26 京都府	1,561	1,528	▲ 33	98%
27 大阪府	10,118	11,306	1,188	112%
28 兵庫県	2,867	3,614	747	126%
29 奈良県	1,467	1,481	14	101%
30 和歌山県	1,140	1,142	2	100%
31 鳥取県	84	76	▲ 8	90%
32 島根県	211	203	▲ 8	96%
33 岡山県	453	497	44	110%
34 広島県	2,066	2,053	▲ 13	99%
35 山口県	551	526	▲ 25	95%

都道府県・指定都市・児童相談所設置市	児童相談所相談対応件数			対前年度増減割合
	平成28年度	平成29年度(速報値)	対前年度増減件数	
36 徳島県	658	634	▲ 24	96%
37 香川県	959	1,181	222	123%
38 愛媛県	803	726	▲ 77	90%
39 高知県	291	326	35	112%
40 福岡県	2,300	3,084	784	134%
41 佐賀県	275	248	▲ 27	90%
42 長崎県	665	630	▲ 35	95%
43 熊本県	520	545	25	105%
44 大分県	1,230	1,321	91	107%
45 宮崎県	631	1,136	505	180%
46 鹿児島県	352	818	466	232%
47 沖縄県	713	691	▲ 22	97%
48 札幌市	1,798	1,913	115	106%
49 仙台市	743	695	▲ 48	94%
50 さいたま市	2,271	2,656	385	117%
51 千葉市	1,135	1,103	▲ 32	97%
52 横浜市	4,132	4,825	693	117%
53 川崎市	2,086	2,411	325	116%
54 相模原市	1,149	1,132	▲ 17	99%
55 新潟市	605	676	71	112%
56 静岡市	486	590	104	121%
57 浜松市	494	474	▲ 20	96%
58 名古屋市	2,747	2,898	151	105%
59 京都市	1,145	1,328	183	116%
60 大阪市	6,020	5,485	▲ 535	91%
61 堺市	1,605	1,621	16	101%
62 神戸市	1,225	1,576	351	129%
63 岡山市	469	436	▲ 33	93%
64 広島市	1,414	1,625	211	115%
65 北九州市	918	1,139	221	124%
66 福岡市	976	1,292	316	132%
67 熊本市	570	703	133	123%
68 横須賀市	722	656	▲ 66	91%
69 金沢市	410	429	19	105%
全国	122,575	133,778	11,203	109%

※指定都市、児童相談所設置市の件数は、都道府県の件数の外数である。

## 児童相談所での虐待相談の内容別件数の推移

○ 平成29年度は、心理的虐待の割合が最も多く、次いで身体的虐待の割合が多い。

	身体的虐待	ネグレクト	性的虐待	心理的虐待	総数
平成20年度	16,343( 38.3%)	15,905( 37.3%)	1,324( 3.1%)	9,092( 21.3%)	42,664(100.0%)
平成21年度	17,371( 39.3%)	15,185( 34.3%)	1,350( 3.1%)	10,305( 23.3%)	44,211(100.0%)
平成22年度	21,559( 38.2%)	18,352( 32.5%)	1,405( 2.5%)	15,068( 26.7%)	56,384(100.0%)
平成23年度	21,942( 36.6%)	18,847( 31.5%)	1,460( 2.4%)	17,670( 29.5%)	59,919(100.0%)
平成24年度	23,579( 35.4%)	19,250( 28.9%)	1,449( 2.2%)	22,423( 33.6%)	66,701(100.0%)
平成25年度	24,245( 32.9%)	19,627( 26.6%)	1,582( 2.1%)	28,348( 38.4%)	73,802(100.0%)
平成26年度	26,181( 29.4%)	22,455( 25.2%)	1,520( 1.7%)	38,775( 43.6%)	88,931(100.0%)
平成27年度	28,621( 27.7%)	24,444( 23.7%)	1,521( 1.5%)	48,700( 47.2%)	103,286(100.0%)
平成28年度	31,925( 26.0%)	25,842( 21.1%)	1,622( 1.3%)	63,186( 51.5%)	122,575(100.0%)
平成29年度 (速報値)	33,223( 24.8%) (+1,298)	26,818( 20.0%) (+976)	1,540( 1.2%) (-82)	72,197( 54.0%) (+9,011)	133,778(100.0%) (+11,203)

※ 割合は四捨五入のため、100%にならない場合がある。

※ 平成22年度は、東日本大震災の影響により、福島県を除いて集計した数値である。

※ 平成29年度の件数は、速報値のため今後変更があり得る。

## 児童相談所での虐待相談の経路別件数の推移

○ 平成29年度に、児童相談所に寄せられた虐待相談の相談経路は、警察等、近隣知人、家族、学校等からの通告が多くなっている。

	家族	親戚	近隣知人	児童本人	福祉事務所	児童委員	保健所	医療機関	児童福祉施設	警察等	学校等	その他	総数
20年度	6,134 (14%)	1,147 (3%)	6,132 (14%)	558 (1%)	6,053 (14%)	319 (1%)	282 (1%)	1,772 (4%)	1,552 (4%)	6,133 (14%)	4,886 (11%)	7,696 (18%)	42,664 (100%)
21年度	6,105 (14%)	1,237 (3%)	7,615 (17%)	504 (1%)	5,991 (14%)	317 (1%)	226 (1%)	1,715 (4%)	1,401 (3%)	6,600 (15%)	5,243 (12%)	7,257 (16%)	44,211 (100%)
22年度	7,368 (13%)	1,540 (3%)	12,175 (22%)	696 (1%)	6,859 (12%)	343 (1%)	155 (0%)	2,116 (4%)	1,584 (3%)	9,135 (16%)	5,667 (10%)	8,746 (16%)	56,384 (100%)
23年度	7,471 (12%)	1,478 (2%)	12,813 (21%)	741 (1%)	6,442 (11%)	327 (1%)	202 (0%)	2,310 (4%)	1,516 (3%)	11,142 (19%)	6,062 (10%)	9,415 (16%)	59,919 (100%)
24年度	7,147 (11%)	1,517 (2%)	13,739 (21%)	773 (1%)	6,559 (10%)	293 (0%)	221 (0%)	2,653 (4%)	1,598 (2%)	16,003 (24%)	6,244 (9%)	9,954 (15%)	66,701 (100%)
25年度	7,393 (10%)	1,554 (2%)	13,866 (19%)	816 (1%)	6,618 (9%)	290 (0%)	179 (0%)	2,525 (3%)	1,680 (2%)	21,223 (29%)	6,498 (9%)	11,160 (15%)	73,802 (100%)
26年度	7,806 (9%)	1,996 (2%)	15,636 (18%)	849 (1%)	7,073 (8%)	281 (0%)	155 (0%)	2,965 (3%)	1,714 (2%)	29,172 (33%)	7,256 (8%)	14,028 (16%)	88,931 (100%)
27年度	8,877 (9%)	2,059 (2%)	17,415 (17%)	930 (1%)	7,136 (7%)	246 (0%)	192 (0%)	3,078 (3%)	1,725 (2%)	38,524 (37%)	8,183 (8%)	14,921 (14%)	103,286 (100%)
28年度	9,538 (8%)	1,997 (2%)	17,428 (14%)	1,108 (1%)	7,673 (6%)	235 (0%)	203 (0%)	3,109 (3%)	1,772 (1%)	54,812 (45%)	8,850 (7%)	15,850 (13%)	122,575 (100%)
29年度 (速報値)	9,664 (7%) (+126)	2,171 (2%) (+174)	16,982 (13%) (-446)	1,118 (1%) (+10)	7,626 (6%) (-47)	218 (0%) (-17)	168 (0%) (-35)	3,199 (2%) (+90)	2,046 (2%) (+274)	66,055 (49%) (+11,243)	9,281 (7%) (+431)	15,250 (11%) (-600)	133,778 (100%) (+11,203)

- ※ 割合は四捨五入のため、100%にならない場合がある。
- ※ 平成22年度は、東日本大震災の影響により、福島県を除いて集計した数値である。
- ※ 平成29年度の「その他」で最も多いのは、「(他の)児童相談所」が6,328件である。
- ※ 平成29年度の件数は、速報値のため今後変更があり得る。